



いじめをしない・許さない学校づくり

生徒指導主事 高野 昌幸

本校は、教育目標の一つとして『心ゆたかな子～自他のよさに気付き、互いを認め合う子供の育成～』を掲げ、日々の授業や休み時間中の遊び、学校行事等を通して、自分や友達のよさに気付き、互いを認め合おうとする心を育んでいます。このような心が豊かになっていけば、「いじめをしない・許さない学校づくり」にもつながると考えています。



そのために、生徒指導主事として「特別の教科 道徳」を大切にしています。「相手と気持ちよく過ごすために時と場合を考えた行動をしよう」「困っている人がいたら助けたいな」という心や態度は、当たり前のことのように思うかもしれませんが、それを当たり前とするのではなく、「えっ、どういうこと？」「もしかしたら自分の考えは違うかも」と、子供たちがぐっと考えたくなるような授業にすることを心がけています。

例えば、「国民全員にお金を配るA国」と「困っている人に多くお金を配るB国」のどちらが平等だと思いますか？子供たちからは、「みんなが同じお金をもらえるA国」、「大変な思いをしている人が安心して暮らせるようになるB国」という意見が出てきました。そして、「平等って何だろう？」と、互いの思いを聴き合いながら考えていました。

道徳科に明確な答えはありません。だからこそ、自分の考えと友達の考えを関わらせて、また新たな考えを生み出し、よりよく生きようとする八幡っ子、そして、「いじめをしない・許さない八幡小学校」を目指していきます。

わたしたちの野菜！

2年担任 佐藤 雄大

2年生の子供たちは、生活科の学習で、「野菜づくり」に取り組んでいます。ミニトマト・カボチャ・キュウリ・オクラ、サツマイモ等、それぞれが自分の育てたい野菜を選び、なのはな農協に行って、自分の目で苗を選びました。小さな苗を植えるときの子供たちは、まるで野菜のお父さんお母さんになったかのようなやさしいまなざしで見つめていました。「元気にそだってね」と声をかけながら水をあげる姿には、命を大切に思う気持ちがにじみ出ていました。

毎日の水やりや観察の中で、「昨日より葉っぱが大きくなったよ！」「花が出てきた！」と、小さな変化を見付けて、喜びを感じているようです。観察カードには、絵や言葉で野菜に対するあふれる思いや成長の様子を記録しています。

これからは、水の量を考えたり、食害対策をしたり、追肥をしたりと、更に世話が必要な時期に入りますが、それもまた大切な学びです。野菜の成長とともに、子供たちの心もぐんぐん育ってほしいです。

野菜づくりの学習では、地域の方にもたくさんお世話になっています。畑の土を耕してくださったり、よい苗の選び方を教えてくださったり、支柱の立て方を教えてくださったりと、子供たちだけでは力や知識がたりないところを快くサポートしていただきました。自分たち自身がお世話になっていることに気付き、感謝を忘れず、学びを深めていってほしいと思います。

